

平成 19 年 11 月 22 日

各 位

会 社 名 アルゼ株式会社
 代表者名 代表取締役兼最高経営責任者（CEO）
 余語 邦彦
 （JASDAQ・コード 6425）
 問合せ先 経理部長 谷口 茂紀
 電話番号 03-5530-3055（代表）

平成 20 年 3 月期中間（個別・連結）業績予想の修正
 及び中間決算発表予定日の変更に関するお知らせ

当社は、平成19年6月1日付「平成19年3月期 決算短信」にて発表いたしました、平成20年3月期中間（個別・連結）業績予想につきまして、本日、下記のとおり平成20年3月期中間（個別・連結）業績予想を修正いたしますのでお知らせいたします。

なお、平成20年3月期通期（個別・連結）業績予想については現在精査を行っており、精査が完了次第、速やかに公表する予定であります。

また、平成19年11月20日付「平成20年3月期中間決算発表予定日の延期に関するお知らせ」にてお知らせいたしました、決算発表予定日の変更につきましても、併せてお知らせいたします。

記

1. 平成 20 年 3 月期中間期の業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日）

(1) 個別

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前回予想 (A)	31,400	5,900	5,700	3,400
今回修正 (B)	36,000	7,900	8,300	8,100
増減額 (B-A)	4,600	2,000	2,600	4,700
増 減 率 (%)	14.6%	33.9%	45.6%	138.2%
(ご参考) 前年度実績 (平成 18 年 9 月期)	15,340	△1,450	△1,590	△3,000

(2) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	33,900	5,900	5,700	3,400
今回修正 (B)	37,800	9,200	13,600	15,000
増減額 (B-A)	3,900	3,300	7,900	11,600
増減率 (%)	11.5%	55.9%	138.6%	341.2%
(ご参考) 前年度実績 (平成 18 年 9 月期)	17,390	△1,487	△2,731	△4,736

(3) 中間期業績予想修正の理由

(個別)

当中間連結会計期間におけるパチスロ事業においては、第1四半期以降、旧基準パチスロ機である4号機の検定期限切れに伴い、新基準5号機への入替が本格的かつ急速に進みました。

具体的には、当社はパチンコホール（以下、「お客様」といいます）の経営コスト削減に大きく寄与するレンタルシステムを構築し、平成18年1月よりサービスを行っております。今年度は当該レンタルシステムの顧客拡大を目指し、レンタル契約期間が通常のレンタルプランよりも短期間の「チャレンジプラン」や、お客様のニーズに合わせ3種類の筐体、すなわち、DX（デラックス）、X（エックス）、7R（セブンスター）の様々な組み合わせが可能な「ミックスプラン」等、多様なレンタルプランを揃え、お客様に提供してまいりましたところ、2年契約の新規レンタル契約台数は予想を下回ったものの、短期間のレンタルである上記「チャレンジプラン」は極めて好調に推移いたしました。

また、5号機「青ドン」の受注が第1四半期に引き続き高水準であったため、「青ドン」を中心に販売台数が増加いたしました。

その結果、当中間連結会計期間においては、販売、レンタル、ソフト交換の合計約100千台の当初目標に対し、合計で約98千台を販売・レンタルし、約17千台のソフト交換を行ったことにより、上記目標を約15千台程度、上回る見込みとなりましたので、前回予想に対し売上高は4,600百万円、営業利益は2,000百万円増加する見込みであります。

経常利益は子会社等からの受取配当金を約500百万円計上したことなどにより2,600百万円増加する見込みであります。

中間純利益は、税金費用が当初計画では税引前利益5,700百万円に税率である約40%を掛け、2,300百万円を見込んでおりましたが、ソフト交換の一部につき税務上は前期の収益として認識していることが判明したため、約200百万円程度にとどまることから、税金費用が約2,100百万円減少し、経常利益の2,600百万円の増加と合わせ、4,700百万円増加する見込みであります。

(連結)

連結の中間期業績予想につきましても、個別の修正理由により、売上高が3,900百万円、営業利益が3,300百万円それぞれ増加する見込みであります。

経常利益は、当社が21.5%の株式を保有する持分法適用関連会社である、ウィン・リゾーツ社（N

ASDAQ:WYNN)が運営するカジノリゾート「ウィン・ラスベガス」及び「ウィン・マカオ」が高稼働を維持しており、営業外収益として約4,300百万円を計上する予定です。この結果、経常利益は7,900百万円増加する見込みであります。

中間純利益は、平成19年6月14日付「当社子会社の固定資産の譲渡に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、グループ全体の資産効率向上のため、当社100%子会社である株式会社システムスタッフ（現アルゼマーケティングジャパン株式会社）が、当該中間期において固定資産の譲渡を行いました。この結果、同社において、約3,500百万円の固定資産の売却益が発生いたしました。この結果、中間純利益は11,600百万円増加する見込みであります。

(注)上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なることがあります。

2. 平成20年3月期中間決算発表予定日の変更について

平成19年11月20日付「平成20年3月期中間決算発表予定日の延期に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、当社は、平成20年3月期中間決算発表予定日を平成19年11月27日にいたしました。その後、決算作業の進捗を鑑みて、11月26日に発表を行うことといたしましたので、お知らせいたします。

以上

なお、機関投資家及びアナリスト向けの中間決算説明会につきましては、予定通り以下の日時、場所にて開催いたします。

日時： 平成19年11月28日（水） 13：00～15：00

場所： 東京都江東区有明3-1-28 東京ベイ有明ワシントンホテル 3階